

藤枝市文学館特別展

藤枝出身の日本画家 北村さゆり展

文学とのかかわりが与えてくれた可能性



《映・春の風》2016年 182×273cm

2021年12月11日(土)～2022年1月30日(日)

【休館日：月曜日(1月10日は開館)、1月11日、12月27日～1月4日】

◎開館時間：午前9:00～午後5:00(入館は午後4:30まで)

◎入館料：大人(一般)400円、(団体20名以上)320円

中学生以下無料、障害者手帳等をご提示の方と介助者1名無料

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内)

TEL:054-645-1100 / E-mail:muse@city.fujieda.shizuoka.jp



著者：山本兼一
装幀：芦澤泰偉
題字：北村宗介
装画：北村さゆり

◎後援：静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社 静岡朝日テレビ 静岡第一テレビ テレビ静岡 NHK静岡放送局

 藤枝市
Fujieda City

藤枝市出身の日本画家・北村さゆりの約40年に及ぶ画業の軌跡を振り返る大規模な展覧会を開催します。北村さゆりの作品は、日本画としては珍しい影の表現や水面のゆらめき、大胆な構図などを用いて日常を等身大の感覚で描き、その画風が評価されています。本展では、幅7m超の大作《蝉の音》(山種美術館蔵/12月21日より展示)などの代表作約20点を展示します。また、36歳のときにコンペで選ばれた新聞連載の挿絵を機に文芸へと足を踏み入れ、45歳からは歴史小説の挿絵・表紙絵を担当しました。その原画やスケッチを200点ほど展示します。人生初の連載挿絵の仕事となった「悪友の条件」(村松友視作/静岡新聞で1997年4月から1年間連載)の挿絵原画や、第140回直木賞受賞作の「利休にたずねよ」(山本兼一著/2008年)の表紙絵の展示は貴重な機会のため必見です。さらに宮部みゆき、安部龍太郎、松井今朝子、高橋三千綱、今村翔吾の時代小説の挿絵・表紙絵、「NHK俳句」テキストの小さな水彩画まで、見どころ満載です。北村さゆりの初期から最新の代表作までが揃った本展をご覧ください、多彩なアートワークと独特な世界観をお楽しみください。



北村さゆり

PROFILE

1960年 藤枝市生まれ。岐阜県高山市、名古屋市で12歳までを過ごす。藤枝市立西益津中学校卒、静岡県立藤枝東高等学校卒、多摩美術大学大学院修了/1986年 神奈川県美術展特別奨励賞/1989年 富嶽ビエンナーレ展大賞/2000年 個展(川村文化振興財団主催)/2001年 平成13年度文化庁新進芸術家国内研修員/2003年 平成15年度静岡県文化奨励賞/2005、2006年 個展(しずおか信用金庫主催)/2009年 個展(第24回国民文化祭・しずおか2009)

【主な所蔵先】イケヒコ・コーポレーション(福岡県)/川根本町/静岡県/静岡県立美術館/静岡県立藤枝西高等学校/静岡県立藤枝東高等学校/しずおか焼津信用金庫/藤枝市立葉梨小学校/練馬区立美術館(寄託)/山種美術館
kitamurasayuri.jp

※①《蝉の音》は12/21より展示します。



①《蝉の音》1996年 198×740cm 山種美術館蔵 ②《このへり》1986年 S100号 ③《枯葉》1995年 182×273cm ④表紙原画『利休にたずねよ』2008年 ⑤《映・クモマ》2015年 S80号 ⑥挿絵・水彩画『猫また』2017年 [文]西山克『中世不思議ばなし』『ひととき』連載より ⑦挿絵・水彩画『十一面観音菩薩立像』(福井県羽賀寺) 2020年 [文]安部龍太郎『半島をゆく』『サライ』連載より ⑧挿絵・墨絵 2012年 山本兼一[相]「とびきり屋見立て帖」『オール讀物』連載より ⑨宮部みゆき[著]『三鬼』⑩高橋克彦[著]『水盛』⑪松井今朝子[著]『縁は真なもの』⑫安部龍太郎[著]『平城京』⑬山本兼一[著]『花鳥の夢』⑭今村翔吾[著]『火喰鳥』

EVENT

イベント参加には事前のお申し込みが必要です。11月25日(木)から受付開始。電話、FAX、メールで郷土博物館・文学館へ。場所：文学館講座学習室

●北村さゆり記念講演会

「私が文学とかかわって」
日時：1月10日(月祝) 13:30~15:30
定員：50名
参加費：500円、中学生以下無料

●ワークショップ「土でえがこう!」

日本画絵具ってどんなもの?
古代から同じ手法?
土を使ってどんな絵が描けるかな?
講師：北村さゆり氏
日時：12月12日(日) 10:00~12:00、13:30~15:30
定員：各回15組
対象：小学生とその保護者
持ち物：乾いた土(100g程度)
参加費：500円



●書道ワークショップ

筆の声に耳を傾けて、書の楽しさを共有できればと思います。古典隨書チバパフォーマンスも予定しています。
講師：北村宗介氏(書家)
日時：1月9日(日) 10:00~12:00、13:30~15:30
定員：各回20名
持ち物：筆
対象：高校生以上
参加費：500円
講師プロフィール：北海道大学卒業後、書道家木村三山に師事、書・篆刻を学ぶ。『利休にたずねよ』『火天の城』『三鬼』など題字を手掛ける。北村さゆり氏の実兄。

●ミュージアムコンサート ※入館者対象、申込不要

「クラシックで味わうクリスマスコンサート」
出演：袴田英里氏(ソプラノ歌手)、安部玲音氏(ピアニスト)
曲目：きよしこの夜、星の世界、アメジジング・グレイスほか
日時：12月26日(日) 11:00~12:00、14:00~15:00



「Sweet Harmony~ソプラノコンサートII」

イタリアオペラのアリアなど華やかな曲を中心に、誰もが知っている童謡や日本歌曲を織り交ぜたコンサート。若きソプラノ歌手がフレッシュに歌いあげます。
出演：安藤春菜氏、窪野沙紀氏、山田咲野氏(ソプラノ歌手)
日時：1月23日(日) 11:00~12:00、14:00~15:00



その他イベント情報は
藤枝市郷土博物館・文学館のHPをチェック!

